

## 第2回 町長定例記者会見 結果

- 開催日時 平成26年9月11日(木) 午後1時～
- 開催場所 遠軽町役場2階応接室
- 記者数 6人

町長から次の話題について発表を行いました。

### ■9月定例町議会の議題より

#### ・財産の無償譲渡について(白滝水力発電所)

財産の無償譲渡についてということです。これは白滝の水力発電所です。これにつきまして、6月の議会において遠軽町白滝水力発電所条例を廃止いたしました。これは3年前、平成23年ですか、大雨で白滝の水力発電所が水没しまして、稼働できなくなっておりました。その後の対処の仕方につきまして、地元のどんな形でもいいから残してほしいという要望を受けた中で、町といたしましても検討の結果、廃止後の発電所については民間企業への譲渡手続を進めてまいります、とお話をしてきたところです。そういったことが整いましたので、発電所を民間に譲渡する議案を今議会におきまして提案しております。相手先につきましては「NK北海道水力発電株式会社」です。譲渡金額は無償です。NKというのは、日本工営、工は工業の工、営は営業の営です。譲渡後のスケジュールですが、本年度から施設の改修工事を行いまして、平成28年度からの運転の開始を予定しております。今月24日の午前9時、この場所において、譲渡に伴う締結式を行う予定となっております。

### ■補正予算について

#### ・観光関連団体負担・助成事業(生田原振興公社補助金)について

観光関係団体負担・助成事業として41,500千円を計上しています。生田原振興公社に対する補助金です。ちゃちゃワールド管理業務委託料の積算の考え方に誤りがあったということがありましたので、これを是正するために補助をしていくということです。

#### ・保健体育一般経費(社会体育振興補助金)について

教育費、保健体育一般経費として社会体育振興補助金700千円を計上いたします。遠軽町では、各種大会誘致及び合宿誘致を強力に進めているところです。合宿につきましては、本年度すでに58団体、約1,300人を超える学生・社会人が合宿で当町を訪れています。今後冬期間における合宿も予定されていることから、補助金を追加するものです。遠軽町において、この合宿大会誘致等におきましては、やはり一つの町の柱である教育、遠軽高校を頂点として、小学校中学校から、スポーツ等の積極的な推進を図って、遠軽高校の存置、今5クラスですが、その中で老舗の吹奏楽はもとより、野球、ラグビー等大変な活躍をしております。こういったものをしっかり町の柱として守っていくことが、この地域の、ひいては産業を守っていくということになりますので、そういったものをしっかりサポートしていくためにも、こういった事業を進めているというところでした、交流人口の増加という点でも効果があるということです。

#### ・球技場管理運営事業((仮称)スポーツ広場整備工事实施設設計業務委託料)について

球技場の管理運営事業です。整備に伴う財源のめどが立ったということから、名称は仮称ですが、スポーツ広場整備工事实施、これは設計業務委託料です。工事本体はまだまだできませんが、そういったものを14,900千円ほど予算計上しております。場所は、温水プールがあります福路地区にラグビー・サッカーが使用できる、人工芝の球技場2面を整備す

る予定です。現在河川敷地やスポーツ公園の球技場で各種試合を実施しておりますが、芝の管理や張替で多額の費用がかかるということ、また芝の養生などで、使用できない期間が長期間にわたることがあることから、維持管理経費の少ない人工芝の球技場を整備するものとして、これは先ほどの、やはり大会の補助金や合宿の誘致ともリンクするものでして、完成後は、地域の子どものスポーツ力向上に努めていきたい。そして各種大会や合宿に使用するほか、ご承知のとおり2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックがあります。これらにつきましても、事前合宿ですね、そういったものに当町としても期待をしているところです。私も、さまざまな関係者を通じて誘致活動と言いますか、まだ果たしてこれも色々難しい問題もありまして、できればそういうこともやればよいなということです。来年度、敷地造成を行い平成28年度に着工して完成するという事です。

#### ■酪農学園大学との「地域総合交流に関する協定」について

酪農学園大学、江別市です。ここと「地域総合交流に関する協定」を結んでおります。これは、平成24年度に協定を結んでおまして、大学及び地域における産業、環境、教育の振興、発展に協力することを目的に締結をしているものでして、酪農学園大学の獣医学部の学生の参加型臨床実習の受け入れを開始しております。これには毎年相当数来ておりますけれど、将来は教育の地域拠点となる研修施設の設置を検討しているところです。これはえんゆう農協さん、湧別町さんと進めてきている事業です。昨年から、佐呂間町さんも入りたいということで、入った中でやっております。これは、家畜防疫に係る衛生検査協力や酪農講習会の開催、有害鳥獣対策に係る調査・指導などの相互交流により、大学教育の発展と、一次産業の発展につながるということが期待されているということが目的ですが、さらに、これは私が一番要望していたことですが、将来的に獣医師の不足が見込まれます。オホーツクの一次産業を守る観点から、さらには、地域における学力の向上と教育の発展のために、国の「獣医地域枠入試事業」医者地域枠の獣医さん版でしょうか、これを活用しまして、この地区の高校から酪農学園大学の獣医学部です。そこに推薦枠を確保してほしいということを、この事業をやるに当たって私は強く推してきましたけれども、この道筋が見えてきたところです。このため、本年10月に遠軽高校において、将来獣医師を目指す高校生を対象とした講座を開催する予定となっております。

#### ■コスモスの開花状況及びイベントの開催について

太陽の丘えんがる公園虹のひろばにつきましては、町民のボランティアによります、除草や花殻摘みにご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

おかげさまをもちまして、現在の太陽の丘えんがる公園虹の広場コスモスの開花状況ですが、今、見頃を迎えております。「太陽の丘コスモスフェスタ2014」が、先週7日に始まりまして、14日にも開催いたします。7日にはコスモスウエディングを開催いたしまして、3,000人の方々に来ていただきました。これは昨年を大幅に上回る数字です。花の出来が去年よりもはるかに今年はいいということも影響しているのかなと思っております。今週の日曜日14日は、STVラジオ公開録音「コスモスコンサート」や自衛隊音楽隊の演奏等が開催されます。多彩なイベントが実施されますので、ぜひ多くの方にご来場いただき、1千万本のコスモスをご覧いただきたいと思っております。イベントの内容につきましては、新聞折り込み、9月号の広報紙及びHPに掲載しております。

#### ■北海道合併市町連携会議総会について

7月23日、札幌市において、私が会長を務めさせていただいております、北海道合併市町連携会議の今年度の総会を開催いたしました。この際「地方交付税制度の見直しにおける合併市町村の財政需要に関する要望」を国について強力に要請してきたところですが、そのことを報告して、その成果について会員の市長さん町長さんに確認を行いました。成果と言いますのは、合併すると優遇措置があります。特に交付税、非常に大きいものです。ただし、これは10か年度ということで、11年度目から徐々に落ちていきます。平たく言えば10年間は、うちは3町1村で合併しております。これは合併していないという計算でカウントされるわけです。非常に多くもらえるということです。これが最終的に16年目には一つの町村の交付税になります。一本算定と申しますけども、当然合併したら職員の数も減る、首長も減る、議員も減る、また色々な施設等の改編も出てくるでしょう。これは各町によって違うでしょうけれども、そういったことから一つの町の交付税となる。これにつきましては、合併前から当然織り込み済みの計算で、財政計画に基づいた建設計画というものを作って、それに合意をした上で3町1村の合併が成り立っていますが、合併特例債という大きな優遇措置がありまして、これは延長に、5年間延長というのも私どもが長崎の人だとか、全国の人と協力しながら延長、法律の改正となった訳でございます。さらに交付税の延長というのは、私どもの方で全国に先駆けて運動して、交付税の16年目にできるだけ減らないようにならないかということで運動してきました。結果、これは交付税ですから毎年その時によって数字は動きますが、今のベースで計算しますと、例えば遠軽町で10億円落ちるところ、今の段階では4億円残るでしょうというような計算になるということで、何とかそこまでは漕ぎつけたのかなど。これは1年間だけじゃありません、その計算がずっといく、さらにあと2億の上積みがいけるかなという可能性もありますので、これからもこの活動を続けてまいると思っています。これにつきましては、我々を支援する議員連盟を作ってくれた中で、関係各団体、機関の方々にも応援をいただきながら活動しているということです。さらに、来月の下旬にも要望に行くということになっております。

#### ■教育委員会事務局の移転について

昨年、国から購入いたしました旧法務局に、教育委員会事務局が移転することになりました。現在教育委員会庁舎の改修工事を10月末までの工期で実施しておりまして、11月上旬の事務局移転を予定しております。事務局移転の日程等が決定次第、広報紙、ホームページに掲載するとともに、報道機関にもお願いしながら町民等への周知をしていきたいと考えているところです。

#### ■交流参加型国際観光地づくりモデル事業について

この事業につきましては、北海道では今年度、道内各地の観光資源を生かして、地域住民の交流と参加を契機とし、新たな国際観光地づくりの推進を目指す「交流参加型国際観光地づくりモデル促進事業」を実施しておりまして、道内の4町村が選定されるというものでありまして、その一つとして遠軽町が選定されたということです。この事業は、地域住民による生活文化体験の機会を、手作りで来訪者に提供いたしまして、国際的に質の高い観光地の形成を目的とするものです。本年度の事業概要は、テーマを「体験滞在型ドライブ観光」とし、ターゲットを、シンガポールを中心とした外国人旅行者にしております。町や観光協会などにより「遠軽町体験交流型国際観光地づくり促進会議」、これも仮称ですけど、こういったものを組織して、既存の体験メニューを外国人向けのメニュー内容になるよう磨き上げ、実施していくものです。本年度は体制の整備とプロモーションが中心となりますけれども、来

年度以降受け入れ目標を設定して積極的に展開していきます。定住人口はそうそう継続的に増やして行けるものではありません。短期的にもですけれど、そういった中で流入人口、そういったものを努力によって確保していきたいと思っておりますし、特に北海道はスキーとか、冬の観光、これは確かには有名ですけれど、冬は旅館やホテル等は閑散としておりまして、遠軽町においても例外ではなく、冬期間こういったもので観光客の流入を図ればと思っております。